

平成29年度人権教育指導者養成事業

「人権セミナー(PTA指導者中央研修会)」アンケート集計結果

日時:平成29年7月27日(木) 場所:県庁 講堂 参加人数:240名(アンケート提出186名)

アンケート調査 回収率

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計
参加者数	1	53	48	27	100	11	240
回収数	1	39	41	19	84	2	186
回収率	100.0%	73.6%	85.4%	70.4%	84.0%	18.2%	77.5%

参加者の年齢構成

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
20代						1	1	0.5%
30代	1	7	4	1	10	1	24	12.9%
40代		29	25	10	36		100	53.8%
50代		3	10	7	34		54	29.0%
60代~			2	1	4		7	3.8%
計	1	39	41	19	84	2	186	100.0%

参加者の立場

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
保護者		39	40	13	64		156	83.9%
教職員	1			5	19		25	13.4%
行政職			1			1	2	1.1%
教育関係者				1	1		2	1.1%
その他						1	1	0.5%
計	1	39	41	19	84	2	186	100.0%

研修会の時間の長さ

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
短い					1		1	0.5%
少し短い		2		1	4		7	3.8%
ちょうどよい	1	20	20	10	47	2	100	53.8%
少し長い		15	20	7	23		65	34.9%
長い		2	1	1	9		13	7.0%
計	1	39	41	19	84	2	186	100.0%

開催時期は適当か

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
適当	1	30	31	15	73	2	152	81.7%
どちらともいえない		9	9	2	8		28	15.1%
適当でない			1	2	3		6	3.2%
計	1	39	41	19	84	2	186	100.0%

研修の内容はどうだったか

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
とても満足	1	6	4	5	13	1	30	16.1%
満足		22	26	12	47		107	57.5%
どちらともいえない		6	7	2	17	1	33	17.7%
少し不満		4	3		5		12	6.5%
不満		1	1		2		4	2.2%
計	1	39	41	19	84	2	186	100.0%

PTA活動に役立つ内容だったか(所属別)

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
役に立った	1	27	28	15	48	1	120	64.5%
どちらともいえない		10	11	3	30	1	55	29.6%
あまり役に立たなかった		2	2	1	6		11	5.9%
計	1	39	41	19	84	2	186	100.0%

PTA活動に役立つ内容だったか(立場別)

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
役に立った	103	14	1	1	1		120	64.5%
どちらともいえない	43	11	1				55	29.6%
あまり役に立たなかった	10			1			11	5.9%
計	156	25	2	2	1		186	100.0%

日頃から「人権」に関心はあるか(所属別)

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
とても関心がある		5	8	4	22		39	21.0%
関心がある	1	24	26	14	50	1	116	62.4%
あまり関心がない		10	5	1	12	1	29	15.6%
関心がない			2				2	1.1%
計	1	39	41	19	84	2	186	100.0%

日頃から「人権」に関心はあるか(立場別)

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
とても関心がある	32	6		1			39	21.0%
関心がある	96	18		1	1		116	62.4%
あまり関心がない	27	1	1				29	15.6%
関心がない	1		1				2	1.1%
計	156	25	2	2	1		186	100.0%

「人権」についての知識・考え方に変化はあったか

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
とても変わった	1	2	3	4	7		17	9.1%
変わった		21	18	14	45	1	99	53.2%
あまり変わらない		14	19	1	29	1	64	34.4%
何も変わらない		2	1		3		6	3.2%
計	1	39	41	19	84	2	186	100.0%

「人権」について学ぶ機会があれば参加するか

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
ぜひ参加したい	1	2	7	4	15		29	15.6%
参加したい		30	27	13	53	2	125	67.2%
特に参加したいとは思わない		7	6	2	16		31	16.7%
参加したいとは思わない			1				1	0.5%
計	1	39	41	19	84	2	186	100.0%

児童・生徒に「人権」に関して指導することは重要か

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
とても重要	1	21	19	14	51	1	107	57.5%
重要		16	20	5	29		70	37.6%
あまり重要でない		1	2		4	1	8	4.3%
重要ではない							0	0.0%
(空白)		1					1	0.5%
計	1	39	41	19	84	2	186	100.0%

人権教育の機会を提供するとすれば, どのような場面か「とても重要」「重要」と答えた方

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
学校の生活全般で	1	12	8	7	27	1	56	31.6%
学校の行事や授業で		17	27	8	35		87	49.2%
家庭生活の中で		7	3	3	13		26	14.7%
その他		2	1	1	4		8	4.5%
計	1	38	39	19	79	1	177	100.0%

「人権」に関して今後聞いてみたい内容(複数選択)

	幼稚園	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	行政, その他	計	割合
障がいがある人の人権	1	16	16	15	34	0	82	32.4%
子供の人権	1	2	18	17	38	1	77	30.4%
女性の人権	1	2	9	7	25	0	44	17.4%
高齢者の人権	1	2	8	5	17	0	33	13.0%
その他	0	0	3	6	7	1	17	6.7%
計	4	22	54	50	121	2	253	100.0%

ご意見・ご感想

○子供の頃にいじめや虐待を受けると、大人になってからも恐怖心を感じてしまい、他の大人に話しかけられない、グループ行動できない等の状態になることがあります。子供にはそんな思いをさせたくないと思っても、そんな大人の心のケアができていないと、子供にも同じ思いをさせてしまいます。大人のカウンセリングも必要な部分もあるのではないかと思います。30代 小学校保護者

○改めて人権・いじめ・思春期・自死についての講演を聞き、考える時間が与えられとても良かったです。人間が命を失うことに人間が人間の命を奪うのが残酷にも2位という結果を先日ニュースで見ました。心を持ち、話をする人種として、心のどこかがとぼしいと不具合が起きてしまうのでしょうか。まずは個々の家族が大切であること、話を聞くこと、忙しい日々の中改めて気づかされました。40代 中学校保護者

○人権・いじめについては分かりました。親として子供を見る視点、いじめがあったらどういう気持ちで、どう対処すれば良いか等の具体的な手立てを講義いただけると良かったです。30代 小学校保護者

○宮城県では、いじめによる自殺が多発していますが、加害者たちやその親たち、教育機関だけが悪いわけではないと思います。社会全体、私たち大人に特に責任があると思います。私たち大人は、自分の家族はもちろんのこと、もっと自分の周囲の人々にとっても愛情を持って生きなければならないと思います。実践するのは、なかなか難しいですが。40代 高校保護者

○普通学級にいるアスペルガー症候群の子供との、クラスメイト、保護者の関わり方について教えて欲しいです。学校の方でもよく対応してくださっている方だとは思いますが、高校生ともなると、いちいち先生に報告しないもので、子供たちだけで対応して苦慮している時期もありました。これから多くなると思われますので、皆にとっても良いのではないかと思います。40代 高校保護者

○人間の進化・群れとしての生活の中で需要と排除が行われた歴史といじめとの関連視点が面白かった。人権が何にも優先して保障されなければならないことであると知った。50代 高校保護者

○いじめはいつの時代でも少なからずともありますが、近年自ら命をたつ子が多く心を痛めておりました。いじめというのは子供の問題ではなく、大人の方が考え修正していく必要があるのではないかという土井様の言葉が耳に残りました。学校⇄家庭⇄地域のつながりが特に大切だと思いました。40代 特別支援保護者

○いじめをなくすことは、大変な仮題だと思います。子供がSOSを出しているのに気づくことができないことは、とてもつらいことです。私たち大人は、何かと忙しいから後回しにすることで、子供のSOSを見逃しているかもしれません。それだけ余裕がなくなっているのではないのでしょうか。少しでも立ち止まることも大事な意識だと思います。子供に司を選ばせないようにすることが私たち大人が考えていかなければならない仮題です。中学生が死を選んでしまうということは、それだけのつらさを受けてきたんだと思います。私たち大人、学校の先生、相談機関がひとつの仮題に積極的な対応をしていかなければ、いじめがなくなるとは思いません。「私は関係ない」ではなく、「私はあなたを守る」という意識を高めてほしいです。40代 特別支援保護者

○人権問題について話を聞く機会が今までなかったもので、とても勉強になりました。PTAでどのように取り入れたら良いかということが、とても難しいですが、お話を聞いてみる機会が増えれば関心も高まるのではないかと思います。20代 小学校保護者

○チャイルドラインみやぎの小林先生のお話で、「低学年の子供がSOSを出せない」「親や先生に言えない」というのを聞いて涙がでそうになりました。地域の一員として、丸ごと包み込んであげたいと思いました。40代 小学校保護者

○子供の成長の変化、思春期の中で、家族のあり方、接し方で環境が変わり、信頼感、安心感を得られることは日頃感じていたので、お話を聞き、今の家族のあり方、生活の中での接し方が間違っていないことを実感できた。反対に、見直すこともあったので、今後役に立てていきたいと思った。私自身も日頃「知っておくべきこと」は読んだり感じたりしているが、「すべきこと」は思う気持ちだけでできていないと思う。少しでも勇気を持って接していこうと思いました。50代 高校保護者

○未来に希望が持てる、身近な大人たちが人生を楽しんでいる姿を子供に見せることが大人としての役目だと強く感じました。いじめ社会にフォーカスするのはもちろん、この日本を全体的に明るく元気にしていく前向きな姿勢を子供たちに伝えられていける大人の一人になりたいと改めて感じさせられました。人生は楽しいと子供たちに伝えたいです。失敗は全て経験で、挑戦した人は成長が成功しかないの、本当の失敗は何も行動をおこさないことだと思います。子供が将来に夢を持てる、挑戦し続けられる環境を大人が整えてしまうことの必要性を感じました。40代 高校保護者

○いじめが結果であって、子供に限らず大人社会でも問題です。いじめの原因の一つとして不快感から生まれてくると思います。過去と他人は帰られませんが、自分を変えることはできます。他者評価にフォーカスすると自分らしさがなくなります。自己評価、自分はそのまま、ありのまま素晴らしいと大人が子供たちに伝えていく必要性を改めて感じさせられました。地域がらみで子供を守っていく行動をしていきたいです。40代 中学保護者

○土井先生の「部分的行程」のスキルは、自己を確立しようとして反動的にもなっているモラトリアム期(思春期)の子への接し方として、もっとも大切なものだと感じました。「自分が人として認められている」自己肯定感を持っている子は自死しない。自死を予防することになる。その最後の砦に家族ということをもっと多くの親に分かって欲しいと思いました。社会のせい、学校のせい、友達とのせいで周りを攻める前に、家族(家庭)で予防、防衛することができるはずと、各親に学んで欲しいと思いました。40代 高校保護者